

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	医療法人社団 阿呷の会 グループホーム杜の街
(ユニット名)	たけのこ
所在地 (県・市町村名)	千葉県山武郡大網白里町南飯塚404-11
記入者名 (管理者)	石井 久美子
記入日	平成 19 年 7月29日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会の文化を担う福祉サービスを目指している		地域に溶け込み、利用者も地域住民のひとりとして暮らせるよう努力する
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各棟カンファレンスに管理者が出席し、意見交換を行い、実践に向け検討をしている		管理者と個々の職員の面談を設け、率直な意見を聞く
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	にこにこ通信や家族向けの便りを作成し、理解を求めている		多くの方に興味を持っていただけるように、内容の見直しを行う
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や通学中の方とよく挨拶を交わしている		天候の良い日は、散歩をこころがけ、近隣の方と更に馴染みの関係を築く
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の敬老会への参加や、GH主催のバザー、杜の街夏祭り		地区の奉仕活動等に参加する

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ここにこ通信を通して、認知症について相談を受ける旨伝えられている。また、夏休み中の子供のボランティア体験(本の読み聞かせ)を受けている		地域のネットワーク(やさしくネット)に協力参画する
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	話し合いを持ち、改善に向け努力中		特にその意義について学習を行う
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にてGH運営について意見交換を行っている。家族からもサービスについて具体的な意見もあり、検討している		運営推進会議で、広く意見を伺い、サービス向上のために活かす
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町主催で二ヶ月に1回町内グループホーム連絡会が開かれている		町内連絡会の内容の充実を図る
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	関係機関に相談したり、資料で学習している		必要な人が速やかに制度の利用ができるようマニュアルを作成する
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	各自資料やマニュアルを読んでいる		理解を深めるための学習の実施

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明		理解しづらい文面などを確認し、特に重要な事項については、念入りに説明する
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に一度町の介護相談員の方の来所		利用者の運営推進会議への参加
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時や、お便りでお知らせしている。また、体調の変化については、随時行っている		個々に合わせた報告ができる様に家族のニーズを把握する
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設置している。苦情、意見、要望について記録をとり、回覧している		面会時に意見を伺えるように時間を作る
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスにて運営に関する意見を聞く機会がある		計画作成者会議や個々のヒヤリングを実施し、広く意見や提案を聞くようにする
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急連絡網の作成や、予定に合わせた勤務の調整をしている		個々のニーズにあわせた勤務調整を検討する
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職の届けは1ヵ月から受付している。以前離職や休職で、新職者の採用が遅く、利用者にダメージを与えたと思う。		新職者を早急に配置し、利用者との馴染みの関係作りを早期に始める

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修内容に合わせ、適する職員を選出し、研修を受けている		研修後のレポートの提出。他職員への研修発表会を開催する
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内GH連絡会、県GH交流会へ定期的に参加し、情報交換などしている		連絡会研修会で必要と思われる事項を他職員へ伝達していく
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日頃より一人一人に声をかけ、困っていることがないか等聞くようにしている。休憩時間をつくるよう心がけている。		介護の場より、一步離れたところで、短時間でも休憩し、リフレッシュできるようにする。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年二回勤務評価をしている。		職員へ努力が必要と思われる所は注意し、改善するように指導する
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談後、面談をし、本人と話をするように努めている		面談前、相談内容をまとめたものを作成し、聞きやすいようポイントを押えておく
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前の状態を家族からよく話を伺う場を設け、またケアマネージャーからの情報を得ている		今後は、求めていることも重点的に聞いて、サービス計画につなげていく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族、本人、ケアマネジャー、管理者の話し合いのもと必要サービスを決めている		話し合いの場をこれからもつくり、サービス内容を検討していく
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学は自由にできる様、家族、本人へ伝えている。同列グループのディサービス利用時にさりげなく遊びにいくなどしている。		体験入居できるようなシステム作り
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	コミュニケーションを常にし、敬う気持ち、入居者の方の優しさに触れ、介護をしているということを忘れず、支えあう関係を築いている		趣味や昔の職歴などから、できることを探し、ケアプランを作成し、実行していく
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事参加のごあんない、面会時に話をする		行事を増やし、家族との交流を図る(お食事会など)
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時に差支えがないように気をつけながら、本人の昔の様子などを聞きだしていく		外出や外泊(希望時)の機会があれば支援していく
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	同級生や近所の方の面会など、ゆっくり話ができるような雰囲気作りをしている。住んでいた家を見にいくなど。		馴染みの場所など、家族本人より、情報収集して、外出機会を増やしていく
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	認知症により、利用者同士では会話が成り立たない場合は、職員が仲介し話をさせていただく		個性を大切にしていき、三棟でも交流会を設け気の合う仲間づくりを援助する

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も面会や電話連絡をしている		退所後でも、利用者、家族が不安にならぬように必要時援助していく
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々、会話の中で希望などの情報があった時は、記録に細かく残しスタッフ全員情報の把握している		情報をサービス計画に反映していく
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人家族より、会話の中で、情報を得ていく		記録を必ず行い、スタッフが全員把握しておく
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	細かい言動でも、記録に残している		記録より得たものをまとめ、カンファレンス等にてスタッフで情報を共有し、総合的に見ていく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントをもとにし、サービス計画を作成。カンファレンスを行い、スタッフ全員で見直しをしている		主治医などの意見も取り入れ、検討していく
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入院やADLの低下など変化が生じた際は、速やかに対応している		状況の変化に迅速に対応できるように情報を収集する

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者個々の言葉、表情、行動などを細かく記録し、共有できるよう心がけている		ケアプランと連動させていく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能を生かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望に応じ、対応できる様心がけている。身体の低下に伴った必要資源も準備している		住み慣れたGHでの生活をより安心して過ごせるように努力する
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	慰問や傾聴ボランティアの導入、徘徊傾向の利用者の為の警察との協力		いろいろな地域資源との協働を目指し、連携システムを作る
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特に今までは無い		他のサービス状況を把握し、必要に応じ支援できるようにしておく
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	特に今までは無い		協働に向け検討する
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ケースによっては、専門医の受診など支援している		家族の協力を得て、馴染みの医院や医師の受診ができるようにする

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて認知症専門医のいる病院を受診している		継続して受診している
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	同列グループの訪問看護ステーションと連携している		連携体制の充実を図る
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	情報交換を密にしている		GHでの介護状況、本人の状態等の情報交換を密にして、本人が安心して入院治療を受けられるようにする
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアの指針を決め、共有している		協力病院との連携を強化し、細部のチェックにも心がける
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	勉強会を行っている。主治医、訪看の協力を得て、情報の提供交換を密にしてチームの強化に心がけている		協力病院、訪看との連携を強化する
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	必要な情報の提供をしている		生活習慣や個々の要望が継続できるような情報提供書の作成

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	カンファレンス等を通し、徹底するよう努めている	日々の実践の中で言葉かけ、対応の仕方などチェック表等使い、考察する
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	カンファレンス等を通し、徹底するよう努めている	具体的な対話ができるようにアセスメントや普段の会話から、希望などを引き出す
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを大切にしている	希望を引き出すようアセスメントや普段の会話を充実させる
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問の理容、美容を楽しんでいる。希望によっては、美容院に行っている	本人の希望に沿った対応をする
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立、買い物、盛り付け等利用者と一緒に行うようにしている	個々の持てる力を引き出せるような働きかけを継続して行う。訪問販売の利用などで楽しみを得る
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みのものの提供を心がけている。	健康を損ねない程度に嗜好を楽しめるようにする

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使い、失敗のない様に対応している。失敗しても、清拭、シャワー等を行い清潔を保っている		排泄と日常生活の連動について見直しをし、この力にあった排泄を支援している
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に沿った時間帯に入浴していただいている。無理強いをしない。		個々の希望を優先することを継続する。その日の体調を把握する。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	臥床、起床は個々によって異なっており、尊重されている。仮眠の時間も尊重している。		特に夜間時の安眠を確保できるよう心がけたい。日中の活動を充実させるなど。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の楽しみや興味を把握し、張り合いが持てるように支援している。家事の分担や外出等、日々の暮らしの中で充実感が得られるように努めている。		個々の生活歴を把握し、その人らしさを尊重したケアの実践を継続させる
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に事務室にて管理しているが、本人の希望や力に応じている		可能な限り、個々の希望を取り入れ、能力に応じてフォローする
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常より外出の希望に気を配り、外出を心がけている。散歩や日光浴など外気に触れる機会を多く作っている。		状況に応じて個別対応で遠出をしたりする
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の希望により、遠出したり、外食を楽しんでいる		希望調査の実施

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により電話をしたり、年賀状や暑中見舞いなどを出している		日常より、本人の希望や必要性を把握し、いつでも援助できるようにする
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間が決まっておらず自由に訪問していただいている。居室やリビングを使って居心地よく過ごしていただいている		気軽に訪問できるような雰囲気継続させる
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる		カンファレンスを通し、日常生活の中で見直しをする。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の安全を図りながら、鍵をかけないケアを心がけている		見守りを強化し、外出をしたい様子を察知し対応する
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげなく全員の様子を把握し、夜間も巡視を強化している		本人の生活の邪魔にならないように見守りを行っていく
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の状態に応じた対応をしている		問題があれば、カンファレンス等で早急に話し合いをし取り組む
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のためのマニュアルを作成し活用している。事故発生時は、報告書を書き、原因の究明と対策を検討している。		同様の事故が発生しないような対策の徹底と、インシデントレポートの作成

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	月一回勉強会に参加しているが、全職員の参加は難しく、資料や個々に学習の場を設けている		定期的にGH内で勉強会を実施する
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災避難訓練を実施している		隣接施設との共同訓練を充実させ、協力体制を整える
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々のリスクについて家族等に随時説明し、対応策について話し合っている。		個々の状況変化に応じ、職員、家族間で共通理解を持つよう話し合いをしていく
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	個々の体調の変化を早期に発見できるようにバイタルチェックや水分摂取のチェックを記録し、異変時は、迅速に医師、訪問看護師に報告相談している。		変化、異常の早期発見のため個々の記録を整理する
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、薬剤師の指導を受け、薬についての知識を得るように努力している		薬の副作用について指導を受け、異常時に迅速に対応できるようにする
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操や、乳製品、繊維質の多い食品を多く摂っていただくようにしている		便秘の及ぼす影響を考え、排便チェック表を活用。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個々の状態に応じた支援をしている。訪問歯科により、口腔ケアの指導を受けている。		個々の状態にあった口腔ケア用品の活用

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態により、食事量や水分摂取量をチェックし、支援している。		栄養や調理について、研修会を企画する
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルに沿って対応している		同列グループの勉強会に参加し、知識を深めている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒防止の冊子に沿って衛生管理に努めている。新鮮な食材を調達する為、頻繁に買い物している		調理用具の消毒と台所の衛生管理の徹底
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門を開放し、中庭にベンチや花壇を配置し、くつろげる空間を演出している		季節感があり、散歩中の人にも立ち止まって見ていただけるようなガーデニングを目指す
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングのTVは手元スピーカーを使用し、ご覧にならない利用者が不快にならないようにしている。花を飾ったり、時節の壁飾りなどで季節感を出している		生活感のある共有スペース作り
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの死角を利用して、独りの時間を過ごしたり、気の合ったものでテーブルについていただいている		籐の衝立などを利用した空間作り

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使っていたものや好みの人形などを持っていただくよう依頼し、使用している		仏壇など思い出の深いものも持ってきていただく
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	エアコン、換気システムを使用し、寒暖計、湿度計と照らし合わせて調整している		個々の様子を観察し、洋服の調整とあわせて支援する
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりのない部分は、安定した椅子を利用したり、自立を妨げず安全な方法をとるように努めている		他職種の意見を参考にしながら、個々の状態に応じた対策をたてる
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	時計や日めくりカレンダーの使用や、トイレの目印などの工夫をしている		記録や職員の気づきによって混乱や失敗の原因を改善する
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭、東屋等で花や野菜作りを楽しんでいる		個々の力に応じて、積極的に参加していただくよう環境を整備する

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

医療法人系のGHとして、生活の場であるとともに、利用者の健康維持や疾病の早期発見に努めている。特に、近年は訪問看護ステーションとの連携が充実し、ターミナルケアを実践。最期までその人らしく生活していただくことを目標としている。